

新企画 ワイガヤ1日練習 レポート

2019 7/7 (日) 東村山コンベンションホールで 39 名参加のワイガヤ一日練習が行われました。10 時～13 時までお腹の虫を押し殺しながら大曲中心のがっとり練習。その後はお楽しみ部門。

くじを引いて色別の 5 テーブルに分かれるとなぜか 4 ボーイズ+1 ガールという特別テーブルの出現は不思議な現象。

乾杯の後は、お弁当を一口食べる前から会長の力作の (前夜夜なべして作ったという) 「所マン定演 1 回目からの歩み」のスライドショーを始めたので、準備の豪華弁当は闇鍋ならぬ闇弁当のようになり、プロジェクターを見ながらたまに闇弁当をチラ見して何かを口に運んで味わうという同時にいくつもの作業をこなすことになる。

「歩み」は大量の写真リストの中からよくぞ選んだであろう選りすぐりの写真たち。その中には、もう会うことのない仲間 (ウルウル涙) や、まだ 20 代 30 代の若き仲間の姿。自分の姿を見つけては、「私も若かったわねえ」(当然だ…という声)。

「あの頃キミは若かった～♪ 私は誰でしょう」のコーナーでは、27 名から若かりし 10～20 代の写真を提供いただき写真を見て私は誰でしょう? 一目見てすぐにわかる人、2 枚目、3 枚目のヒントが出て誰かわからない人。これは誰だろう? と必死に見つめるみなさんの笑顔、素敵でした。50 肩で腕が上がらないのに、ピン! ときたとたん、思いっきり手を挙げて「は～い👏」と言っているひと。それぞれの写真の髪型、服装、風景がまさに昭和を思い出す材料となり、また各人が生きてきた背景がわかって興味深かったですね。今も輝いている所マンのボーイズ&ガールズ。40 年以上前も「平凡」「明星」に出てくるようなイケメン、美女揃ってこれもまたビックリ。目の保養になりました♡。まだ脳裏に張り付いていて、今度会った時はその顔が頭に浮かんでニヤニヤしそう。ぜひ写真集に残して老後の楽しみにしたいものです。会長よろしく。

写真提供の皆さんに感謝!

その後は、普段聞けない楽器演奏や、にわか仕立てメンバーでの合奏、楽器を持ち替えてにわか指揮者で特別編成合奏など音楽一色の出し物。

フルート演奏、篠笛、マンドリン、ミュージックベル演奏に出られた方ありがとうございました。出てくれた勇気に感謝です。

客は酔っているとはいえ、人前でやるのは緊張しますね。それもほとんどがぶっつけ本番、途中でやり直し、間違えもご愛嬌。それぞれ素晴らしい演奏でした。

後半は真面目なマンドリンテクニック講座。下村さんが何十年もかけて身につけたテ

クニックを少しでも（今のうちに）教えて欲しい思いから。
小指を楽に使える事、第一ポジションから上のポジションに飛ぶ事、きれいにトレモロを弾く事、弦の移動をスムーズにする事などの練習方法を教えていただきました。
結局、繰り返し練習しかないようです。
この時の下村講師は、（普段と違って）さすがに45年前に所マンを創立し存続させてきたという貫禄を醸し出して格好よかったです。

ワイガヤのトリは、全員参加の指揮者・パート交換体験。
半分以上が普段とは違う楽器・パートに挑戦し不慣れなにわか指揮者の指揮に合わせるといふ至難の演奏。弾く方は譜面と慣れない楽器に四苦八苦。指揮者なぞ眼中にありません。それでも、指揮者は40年以上前の指揮姿がよみがえったのか、1回通しでは消化不良を感じダメ出しをして再度挑戦。2回目の演奏はぐんと良くなったのか、もう諦めるしかないと思ったか、指揮者が下手だったと反省したか…。私でも怖くて聞けません（笑）
楽器交換をして、「マンドリンは性に合わない！」「ドラは弦が太くて指が痛い！」などの声も。でもこの機会に違うパートにも興味の幅が広がる可能性ができたかと思えます。

色々具だくさんの内容でしたが、予定通りの時間にすべてが終わりました。
これは、参加していただいたみなさんの協力のおかげと深く感謝しております。
色々関わっていただいた方々、ご協力ありがとうございました。
今回都合が悪くて参加できなかった方、残念でしたね。

記：SH